

第30回国賠同盟東濃西支部 総会から感じたこと

東濃西支部 中嶋 国人

感染爆発が全国的に広がっている中、菅政権による「人災政治」を强行する施策により日常生活に大変な困難を押しつけられ、そのため、総会の開催も十分な討論・方針も、未消化の状況であったと言わざるを得ません。

◇各支部の状況はともかく、東濃西支部は、ちょうど三〇回の節目の年です。過去には、同盟運動が市民・市議会にも認知される盛り上がりを見せた時期を経



岐阜県版
第374号
2021年9月15日

治安維持法同盟
岐阜県本部
〒500-8879
岐阜市徹明通7-13
岐阜県教育会館308号室
Tel 058-252-5366
振替00840-2-88638

私たちの運動の基本 ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法である事を認めること
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に、謝罪と賠償をおこなう事

験し、署名運動では、人口比1%を達成する記録、連続五年続けてきた実績、請願運動を三市とも毎年提出し続け、採択寸前まで迫る瑞浪市議会での運動も経験してきました。

◇支部組織の維持が高齢化に伴い、役員の病気、施設治療、訃報等によって運営が機敏に対応出来ない支部に陥ってしまいました。特に支部の中心となる指導部の病気・入院・病死等の致命的な体制崩壊が現実化し、口ナ禍による集会の抑制のため、意思統一の場がなく停滞が続く現状下で支部総会を開催しました。

◇支部総会の案内は、入院会員を除く全ての会員に訪問配布し、参加を呼びかけました。

これまで、二〇人以上参加で、総会と学習、懇親会を重ね、方針と役員を決定してきました。今回、参加者は一桁にとどまりま

したが、方針では運動の原点を守り、粘り強く支部がこの地域で掛け替えのない組織の一翼を担い諸団体と連携し、同盟組織ここにありの運動を続け発展する具体的プランを確認し合いました。

◇具体策の柱は、岐阜・中濃支部の活動スタイルから学び、同盟活動の課題を分担し合って活動する会員参加の行動を見習うことが必要、分けても以前、女性部活動を強めてきた経験を活かし、女性会員の持つ力を引き出し、女性部活動を活発化する具体的プランを提起し、活動する場を現実のものにするようにしたい。(次ページ)



七六年前と今日の違いは「平和憲法」があつたからだ。被爆者が実態を訴え続けてきたからだ。

しかし今、コロナのパンデミックに、集中豪雨にいつ襲われるか分からぬ。世界は地球温暖化に一つになつて対処する時ではないか！まず日本への政治を変えよう！自公政権を倒そう！戦争と武器ではなく話し合いで最善を尽くす世界にしよう！そのために選挙で頑張ろう！

長雨の中、その日の午後だけ天気が良かつた。

気持ちも爽やかになつた。

コロナに猛暑、台風をもかわし?
乗鞍岳にていやす・・

中濃支部 澤田善太郎

私たち夫婦も参加し山登りをしたのは、8月8日の日曜日でした。この日全国のコロナ感染者は103万人を超えて、東京など日本の各地では感染者数が連日過去最多を更新しつづけていました。また一方の猛暑では、やはりこの日多治見市が全国一位で40・6度、美濃市が全国二位で39・4度、暑いというより熱い、というほど状況になつたのでした。



◇現在組織体制が困難な傾向は、どの組織においても共通課題であり、それぞれの状況を乗り越える努力が行われているのですが、特に同盟の組織会員が高齢者の比率が高く、行動に支障が多い組織です。

情勢は今、「これまでとは違う自・公・維新の右翼政治を許さない新たな「市民という光」の波が社会を動かし、「声を上げれば変えられる」という大きな変化の時代になつてゐるのだと再認識することが必要ではないか。

高齢者は病気で体の自由が無理以外、「戦争体験・労働・経験」「ウソを見抜く見識」「運動に加わる余裕時間」「死」は必然・失うもの・怖いものなし、気持ちの持ちようで自由に選択できる「喝」を入れ直せば社会変革のリーダーであると気持ちを入れかえたらどうか!「学者・哲学者など著名な諸先生たちの発言を大いに参考にして同盟運動の原点にもう一度立ち返る」を、会員に呼びかけることを始めて行こうと思ひます。

◇東濃西支部の個人署名目標は二二〇〇筆に挑戦する運動の展開がこの支部立て直しのバロメーターだと言ひ聞かせておきます。

さらには来年上映予定の権力に抗して声を上げた乙女がいた「わが青春つきる」と伊藤千代子の生涯上映運動を成功させるために!

た。それで8月4日、「う私はもういいから、山じいさんやないわ!」との思いになりました。

一の時、リーダーさんや幹部の方たちは、台風は気まぐれなどいつもあるからか、中止の結論を急がず、ぎりぎりの所まで気象状況を見極めようという上で、前日7日昼の情報を見

当日の参加者は36名で、全員マスク、手指の消毒剤各2本づつを積んだマイクロバスが2台。早朝5時関市発で、高山から平湯へ向かうと、青空が少し見えてくるようになってきた。8時過ぎに畠平へ着くと、空の半分くらいがもう青かつた。

班編成は3つ。A班は駐車場の直ぐ下にあるお花畠を楽しんだ後、富士見岳を登つてから剣ヶ峰へ向かう健脚組。B班はお花畠の後直接剣ヶ峰へ向かう。C班はというと、自由行動となり、最終的にはA班やB班が降りてくる肩の小屋で合流できればいい、という配慮がされたうれしい人の班だつた。私たち2人はもちろんこの班です。

乗鞍岳は23の峰の総称で、最高峰が剣ヶ峰。C班には乗鞍にかなり詳しい方がおられ、お花畠はたいしたところないからと敬遠し、まず魔王コースに入りました。やがてコマクサが出てくるようになり、斜面がピンク色になっているほど所に着きました。これが目指したところでした。

乗鞍岳は23の峰の総称で、最高峰が剣ヶ峰。C班には乗鞍にかなり詳しい方がおられ、お花畠はたいしたところないからと敬遠し、まず魔王コースに入りました。やがてコマクサが出てくるようになり、斜面がピンク色になっているほど所に着きました。これが目指したところでした。



戦前の恵那地方の反戦・平和の闘い(4)

進田口 惠那支部

*久運寺は「とり寺」としても知られ、その伝え話が「岐阜の昔話」に掲載されています。

過ぎ去るのを待ちました。たゞえ子供であつても無作法は許されず「切り捨て御免」がまかり通る時代でした。行列が近づくと子供らは「トシビンシャンシャン」と家の戸を開め、行列が通り抜けるのを静かに待つのです。

庶民は「うした」と嫌い、ささやかな抵抗をしました。一六六五(寛文五)年、お茶壺が加納を通じて、久運寺(加納満宮の西にあり現在廃寺)が本陣の指定を受けました。しかし、玉葉和尚はそれを嫌つて本陣を断りました。このため藩庁から和尚の退寺が命じられました。久運寺の本寺正眼寺がその赦免を願い出てようやく許されました。

このような事件が起るのも、お茶壺道中が恐れ嫌われていたからだと思います。ちょうど触れただけでも井戸に落つてしまいそうな危ない様子をこわざで「井戸端の茶碗」という、そんな茶壺道中に苦しめられた庶民の抵抗の思いが形を変え、わらべ歌になつていつたのではと思ひます。

ちよと乗鞍に向かう健脚組。B班はお花畠の後直接剣ヶ峰へ向かう。C班はというと、自由行動となり、最終的にはA班やB班が降りてくる肩の小屋で合流できればいい、という配慮がされたうれしい人の班だつた。私たち2人はもちろんこの班です。

乗鞍岳は23の峰の総称で、最高峰が剣ヶ峰。C班には乗鞍にかなり詳しい方がおられ、お花畠はたいしたところないからと敬遠し、まず魔王コースに入りました。やがてコマクサが出てくるようになり、斜面がピンク色になっているほど所に着きました。これが目指したところでした。

乗鞍岳は23の峰の総称で、最高峰が剣ヶ峰。C班には乗鞍にかなり詳しい方がおられ、お花畠はたいしたところないからと敬遠し、まず魔王コースに入りました。やがてコマクサが出てくるようになり、斜面がピンク色になっているほど所に着きました。これが目指したところでした。

時季がちょうど良かつたのでした。龜ヶ池を見下ろす所で休憩しました。その後は畠平まで下り、風景を楽しむ散策をした後、富士見岳へ登りました。標高は2,817mですが、畠平との標高差はたったの110mです。ドカメンバーには高齢者もいれば体調まいちで、もう人もいるの、「かわいらしい」と長い尾根を登り、山頂では展望を楽しむ大休止をしました。

このあとどうしようかで、青空に映える真っ白な観測所のあのドームを眺め、摩利支天岳も行ってみようかという声が出ましたが、もうそんなに頑張らんとおこうよといふ声のほうが勝り、ゆつたり歩き、「肩の小屋」へ行き昼食にすることになりました。

この日の山の空気は涼しくて、もさわやか、登山者の人混みもそれほどではないけれど、畠平へ戻るとなると、やはり人は増えたくなるだろうというと、「肩の小屋」へ長野県側、乗鞍エコーラインのバス停「肩の小屋口」まで下ることになりました。このコース(歩道)はの大雪渓スキーフの横に至る道で、岩や石がゴロゴロあるような悪路でしたが、雪解け後であつたため高山植物や花もたくさん楽しめるコースでした。到着したバス停にはマイクロバスが待っていて、車上の人となり無事帰着できました。

時季がちょうど良かつたのでした。龜ヶ池を見下ろす所で休憩しました。その後は畠平まで下り、風景を楽しむ散策をした後、富士見岳へ登りました。標高は2,817mですが、畠平との標高差はたったの110mです。ドカメンバーには高齢者もいれば体調まいちで、もう人もいるの、「かわいらしい」と長い尾根を登り、山頂では展望を楽しむ大休止をしました。

このあとどうしようかで、青空に映える真っ白な観測所のあのドームを眺め、摩利支天岳も行ってみようかという声が出ましたが、もうそんなに頑張らんとおこうよといふ声のほうが勝り、ゆつたり歩き、「肩の小屋」へ行き昼食にすることになりました。

この日の山の空気は涼しくて、もさわやか、登山者の人混みもそれほどではないけれど、畠平へ戻るとなると、やはり人は増えたくなるだろうというと、「肩の小屋」へ長野県側、乗鞍エコーラインのバス停「肩の小屋口」まで下ることになりました。このコース(歩道)はの大雪渓スキーフの横に至る道で、岩や石がゴロゴロあるような悪路でしたが、雪解け後であつたため高山植物や花もたくさん楽しめるコースでした。到着したバス停にはマイクロバスが待っていて、車上の人となり無事帰着できました。

はじめ、上がりは東海道、下りは中山道となりました。時には中山道を通り、加納宿を通過しました。一六六五(寛文五)年から将軍家へ茶が献上されるようになり、毎年三個のお茶壺が通行しました。お茶壺が通行しました。はじめ、上がりは東海道、下りは中山道となりました。時には中山道を通り、加納宿を通過しました。一六六五(寛文五)年から将軍家へ茶が献上されるようになり、毎年三個のお茶壺が通行しました。お茶壺が通行しました。お茶壺が通行するときは、庶民はひれ伏し茶壺が通り

（一）石川友左衛門の指導

一九二七年になると岩村町出身の石川氏から「労農新聞」「労働新聞」「無産青年」「日農の「土地と自由」「赤い星」等を送つてくれるようになつた。

岩井氏はそれを同志たちに見せ、回覧しみんなが見られるようにした。しばらくして石川氏が岩井氏の家を訪ねてきて「世界的なアシズムの到来でだんだん活動が厳しくなつてきている。中央の情勢について話したいから信頼のおける者を集めてくれ」と言つた。

そして「警察に知られないよう注意して、時・所は当日参加できる同志だけに伝える」という用心深さだった。

石川氏が名古屋から岩村に帰つてきた時に岩井・成木社一・曾我留吉・惠那から鮎沢重治の四人で会つた。その時の石川氏の話の記録は今はないと、その後の我々の活動に重要な示唆を与える内容がしめされた。

戦後、無産運動のことを編集する時、記憶する限り岩井氏が語つた事を要約すると、次のような事であった。○中央の情勢、再建して、もすぐつかまり安定した指導部が作り出せなくなっている事。

○中央にスパイが入り込んでいるらしく活動家の住所、氏名、アジトが県警を通じて、知られてしまいます。

○石川氏は、日記をつける事、活動記録を残す事の危険を語り、重要なことはすぐ頭の中にたたき込む事。

○合法と非法の活動を区別する。

○我々の活動は反戦平和の闘いである。無産大衆の要求と参加を広めに行く。

○花見とかピクニック等、地域を越えた交流を進める。等が話し合われ、翌年の八月一日反戦記念デーに岩村城か田立の滝へのピクニックを行なう事も話し合いで決ました。それまで日記をつける習慣のあつた岩井氏は四～五年の日記と活動記録として残しておいた記録も全部焼却した。そして、他の同志達にも日記、活動記録、同志達の住所、氏名等を残すことになつた。

彼は「全国的な一斉大検挙だ。三七〇〇人にのぼる活動家が特高警察により検挙され、野蛮な拷問が加えられた」と言う。

(一) 五と特高警察

一九二八年三月末頃、岩井氏の家に朝鮮人「吳学振」と名乗る青年が訪ねてきました。

五大事件の話をし岩井氏は初めて知つた。彼は「全国的な一斉大検挙だ。三七〇〇人にのぼる活動家が特高警察により検挙され、野蛮な拷問が加えられた」と言う。

岩井氏はこの話を聞いて、すぐ新聞を買い集め

乙女がいた
声をあげた
権力に抗して

わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

増補新版・原作:「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登(学習の友社・刊)

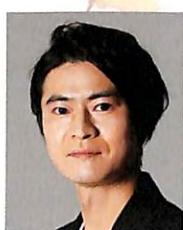
企画・プロデューサー:桂壮三郎 ラインプロデューサー:山地昇 脚本・監督補佐:宮負秀夫 撮影監督:田宮健彦 アシスタントプロデューサー:平沢清一 照明:赤津淳一
美術監督:安藤篤 音楽:山谷和明 助監督:小野寺昭洋 制作担当:星孝之 キャスティング:石井美保子 升本由喜子 衣装:おかもと技芸 ヘアメイク:萩みみ
制作協力:アトリエ羅夢 製作:映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

2021年秋クラインクイン

2022年3月 完成



竹下景子
(安井てつ)



窟塚俊介
(浅野晃)



金田明夫
(土屋文明)



新人・井上百合子(伊藤千代子)



石丸謙二郎
(特高)



嵐圭史
(老人)



印南唯
(西村櫻東洋)



角田萌果
(塩沢富美子)



田上唯
(渡辺恵子)



平田舞
(今井久代)



塚瀬香名子
(平川ふみ)



曾川留三子
(浅野ステ)



宜野座万鈴
(原菊枝)

待望の
映画化
製作快調!

賛同団体

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救援会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会 全日本年金者組合
全日本年金者組合東京都本部 全日本民主医療機関連合会 宇治・長野・大阪・東京各山宣会 (2021年4月現在)

chiyoko-cinema.jp



ヒューマンドラマ
わが青春つきるとも
—伊藤千代子の生涯—

（ものがたり）
100年前、権力に抗した
一人の少女に、今私たち
何を感じるのか

「朝から晩まで働いても、満足
にご飯が食べられない貧しい人た
ち、一方では贅沢をしている人た
ち……。この不公平な社会をなん
とかよい社会にしたい……」

期の激動の時代。天皇の絶対的專
制政治のもと、国民は「天皇の臣
民」とされ、貧困と無権利状態に
おかれていました。

千代子が東京女子大で学ぶ頃、
稀代の悪法「治安維持法」が公布
され思想言論弾圧がますます激し
くなります。

千代子は、故郷の長野で製糸工
場の大争議を通じ、労農党の浅野
晃と知り合い、結婚。大争議を浅
野とともに支援します。

そして日本共産党と共同戦線を
組んだ労農党が初の総選挙で大躍
進。その躍進を恐れた支配層は28
年3月15日の大弾圧を加えます。
千代子は検挙され激しい拷問を受
け刑務所へ送られますが屈せず、
獄中のリーダーとして侵略戦争に
反対し、主権在民、ジェンダー平等
の社会を目指して志を貫きました。
しかし、同志であり最愛の夫であ
る浅野晃の変節と裏切りを知
つて千代子の身体と精神は徐々
に蝕まれていくのでした……。

1 弁当分け合う 心優しい千代子さん……

諏訪高女で土屋文明の薰陶受けて育った伊藤千代子は、卒業後の代用教員時代、凶作や繭・生糸の暴落で弁当を持参出来ない児童を励まし、教室に残って弁当を分け合って食べていました。職員室にほとんど戻りませんでした。

2 『婦人論』読んで ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならざるか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校を目指します。仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でペーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る……(1925年12月発信の手紙から)。

「女人人が覚める時、男子の催眠術から、
そして自己の自己に対する催眠術から覚める時、
どんなにすばらしい世の中が展かれて来るでしょう」

3 小林多喜二と伊藤千代子— 時代が結んだ青春

1928(昭和3)年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき、伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者山本懸藏の選挙出立資金を立て、活動に参加していました。

小樽では、待ちに待った小林多喜二が「われらの山懸を迎えてたたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二は羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進みました…。「俺たちの運動は何代がかりだなあ」…(小林多喜二『東俱知安行』より)。

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うのでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たれなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう…。



製作支援2つのお願い
製作資金づくりを
みなさんのご協力で進めます



「協賛募金」と「上映債権」のお申し込み先

「映画製作を支援する会（略称・センターの会）」
〒277-0043 千葉県柏市南逆井2-24-36

藤田廣登 気付

担当：藤田廣登 090-4527-1129
mail:fujitahiro@outlook.com

FAX 04-7174-2028

送金先（郵便振替口座）00190-7-409200

加入者名：伊藤千代子の会

●下記申込者には郵便振替用紙を送付します。

➤ 郵送の際の切り取り線---

協賛募金・上映債権 申込書

郵便・FAXでお申し込みください。

| | | |
|--|-----|--|
| お名前&団体名 <small>団体様の場合は担当者様の お名前もお書き下さい。</small> | 担当者 | <input type="checkbox"/> 個人協賛募金 円 捨出 <input type="checkbox"/> 製作資金 1□ 10万円 捨出 |
| ご住所 | 〒 | |
| 電話・FAX | TEL | Eメール |

取扱団体